

## すみれ通信 72号

すみれ通信は、医療・介護に携わる方に発信しています



〒 251-0032

藤沢市片瀬339-1

藤沢市医師会館

在宅医療支援センター

☎ 0466-41-9980

Fax 0466-41-9981

メールアドレス fuji-zaitaku@movie.ocn.ne.jp

6月



## 第1回「在宅医療・介護」連携多職種研修会

## 新型コロナウイルスワクチンについて

在宅医療・介護連携  
多職種研修会  
Apr/28/2021

クローバーホスピタル院長 鈴木勇三



Zoom で開催

日時：令和3年4月28日

(水) 18:00~19:00

テーマ：

新型コロナウイルス  
ワクチン  
について

講師：クローバーホスピタル 鈴木勇三医師

参加：申し込み 84名 当日 zoom アクセス数 57

クローバーホスピタルの医療介護オープンセミナーとの共催で開催しました。

スムーズなワクチン接種につなげるように、新型コロナウイルスの仕組み、ワクチンの効果や副作用などわかりやすく講義して頂きました。



## 在宅療養のポイント 第8回

後編

個人のお宅と施設で、年間 1500 超えの在宅訪問を行っている薬局の薬剤師さんの後編です。

伸和株式会社 湘南辻堂薬局

管理薬剤師 内山一成

## ③他職種との連携が大切になるケース

飲み忘れの多い患者さんには前編で紹介したおくすりカレンダーが有効です。正しく飲んでいるかの確認を訪問スタッフ全員で行うことで服薬漏れにすぐ気付くことができます。認知症患者さんの場合にはカレンダー管理が不向きなこともありますので、もし上手く服薬できていないようでしたら薬剤師に管理方法の相談をして頂きたいです。当薬局では時間になったら服用を促してく



れる服薬ロボットも導入しています。

終末期患者さんの情報は特にオンタイムで共有してたいです。限りある時間の中で有効に薬を使って頂くためにも、訪問時の些細な情報でも薬剤師に教えてもらえると助かります。使いやすい剤形や飲み方の提案ができると思います。

## ④かかりつけ薬局の意義

薬局で調剤して薬をお渡しする場合、患者さんと話せる時間は数十秒から長くて1分程度が多くは薬局の現状だと思います。顔馴染みのかかりつけ薬局を持ってもらうことで最近の出来事や日々の習慣、身の上話などが聞けたりします。そんな話の中にこそその人だけのオリジナル服薬指導のネタが転がっているものです。



脳梗塞により嚥下機能が低下した患者さんから、サプリメントを自分で粉砕して飲みたいと相談を受けました。薬局で粉砕することもできますが、自宅で手軽に粉砕できる安価な手のひらサイズの粉砕機を紹介し満足いただけたことがあります。

80代のCOPD患者さんは吸入薬が1日1回のものから1日2回のものに処方変更になりました。大変真面目な方で、吸入方法が合っているか使い方の再確認に来て欲しいと言われ、自宅へ吸入指導に訪問したことがあります。理解度は年相応でしたが、繰り返し吸入のポイントを指導してしっかり吸入できるようになりました。薬局で行った吸入指導だけでは正しく使えなかったかもしれないと思ったケースでした。

住み慣れた自宅での療養を継続するため、小さなことでもぜひ薬局までご相談ください。



今年度藤沢市の組織改正があり、在宅医療支援センターは、健康医療部「地域医療推進課」の委託業務になりました。業務内容については今までどおりですのでよろしくお願いいたします。